

令和2年第10回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 令和2年10月21日(水)
午後3時00分～午後3時19分
2. 開催場所 柏原市教育委員会 会議室
3. 出席した委員
- | | |
|---------|-----------|
| 教 育 長 | 新 子 寿 一 |
| 教育長職務代理 | 山 崎 裕 行 |
| 委 員 | 田 中 保 和 |
| 委 員 | 近 藤 温 子 |
| 委 員 | 西 村 弥 生 子 |
4. 出席した職員
- | | |
|-----------|---------|
| 教 育 部 長 | 福 島 潔 |
| 教 育 監 | 岡 本 泰 典 |
| 健康福祉部長 | 石 橋 敬 三 |
| 次長兼教育総務課長 | 寺 川 款 |
| 次長兼学務課長 | 安 田 典 子 |
| こども育成課長 | 石 橋 智 成 |
| 事務局教育総務課 | 栗 田 聖 子 |

5. 議事案件

議案第42号 柏原市立学校園教職員人事基本方針について

議案第43号 就学前施設の統合に伴う柏原市立幼稚園について

6. 報告事項

7. 会議録の承認及び会議の要旨

新子教育長： 令和2年第10回教育委員会会議を開会いたします。会議録署名委員は山崎委員でございます。よろしくお願いいたします。次に、会議録につきまして、ご意見はございませんか。

委員： ありません。

新子教育長： では、さっそくですが、本日の議事に入ります。本日の議案は2件ございます。それでは、まずはじめに、議案第42号につきまして、事務局、学務課安田次長より説明をお願いします。

安田次長： 議案第42号 「柏原市立学校園教職員人事基本方針について」 学務課よりご説明いたします。説明に先立ちまして、今年度の教職員の現状について報告いたします。令和2年度は、コロナ禍により、教職員の負担が増えました。在宅勤務や通勤の緩和などの負担軽減や、コロナ加配などの対応で、昨年度のような途中退職者が多数出るような危機的状況に陥るような事態にはなっておりませんが、精神的負担を感じる事案は、どの学校も抱えております。また、コロナだけではなく、幼稚園が認定こども園に向かって急激に進んでまいりました。令和3年度は、現在の5園のうち、3園が認定こども園になります。予想もできない大きな変化は、思いがけない負担になります。学務課といたしましては、異動は最大の研修であり、育成につながるのと考えを大切にしながらも、できるだけ見通しを持たせた人事異動を行うとともに、変化にしなやかに対応でき、成長の機会ととらえることのできる人材育成に努めてまいります。1ページをご覧ください。柏原市立学校園教職員人事基本方針について、令和2年度の教職員人事については、本市の学校園教育の健全な発展と教職員組織の充実を図るため、次の基本方針により行う。2ページから4ページに令和2年度柏原市立学校園教職員人事基本方針案を、5ページに令和2年度柏原市立学校園教職員人事基本方針取り扱い上の留意事項案をお示しいたしておりますが、今年度の改正点をご説明いたします。大きな改正点は、幼稚園人事についてでございます。4ページの一番下をご覧ください。幼稚園の人事につきましては、これまでも認定こども園になることを見すえ、幼稚園教諭と保育士の人事交流を行ってまいりました。現在、4名の幼稚園教諭が保育所への勤務を経験しており、来年度の認定こども園へのスムーズな人事異動への準備が進んでおります。「今後の認定こども園開設の計画に合わせて、教育・保育の専門職としての資質向上を図るため、これまで行ってきた幼稚園教諭と保育士の交流を踏まえた人事配置をこども育成課と連携して行う」とございますように、幼稚園の人事異動につきましては、こども育成課と人事ヒアリングを丁寧に行い、見通しを持たせた人事異動を進めてまいります。7ページに新旧対照表を挙げておりますので、ご参照ください。また、昨年「延長は何年を目途とする」を「上限」といたしました。これは、管理職に、異動年限を強く意識していただいて、積極的な人事異動を促すためのものですが、今年度も同じ方針のもと、「教職員の個別事情について」は配慮しながら、長期滞留者の出ることがないように努めてまいります。ご審議よろしくお願いたします。

新子教育長： 今、説明をいたしました、ご質問等ございましたら、よろしくお願いたします。

山崎委員： 2ページの1. 教職員の人事の(1)のアなのですが、市町村間の広域異動や校種間異動を積極的に進めるということが出ております。異動は最大の研修であるというのは、私は、身をもって思っております。柏原市の活性化のために、他市に異動していただいた方、それから中学校から小学校へ行っていただいたり、小学校から中学校へ行っていただいたり、こういった校種間異動をしていただいた方、こういう方々のお力も柏原市の活性化に大きな力になって、今の柏原市があると思っております。やはり、広域異動や校種間異動というのは、待っていてもだめで、教育委員会が意志を持って、積極的に進めて

いかないと、これはなかなか動きにくい、実現しにくいことだろうと思います。積極的に進めるという意志を持って、コロナが収まるまでは、通常の業務というのは難しいとは思いますが、ぜひ、これを進めていただいて、異動は最大の研修だということをやっていたらありがたいなと思っております。もう一点は、5ページの留意事項の(3)その他のところにあてはまると思うのですが、私はあまりお話しはしてこなかったと思うのですが、校長としての経験の中で思うことは、どういう学校経営をしていくか、どんな学校をつくるかということを校長はいつも考えているわけですが、教頭は校長を補佐する立場ですので、校長についてきてくれないと、学校経営がうまくいきません。教員の方も最低2、3人は、校長をしっかり補佐して、教頭と同じように校長についてきてくれる人がいないと、なかなか自分の思ったような学校経営をしていくことは難しいなという経験を持っています。つまり、2、3人のついてきてくれる人がいれば、それは、大きな力になって、自分なりの学校をつくっていくことができるという風に思います。ぜひ、今もやっていらっしゃるわけですが、校長のヒアリングの中で、今年の課題を踏まえて、来年はどんな学校をつくっていきたいのかと、きちっとヒアリングをしていただいて、そのための人事配置として、ここには適正な配置と書いてあるわけですが、ぜひとも学校経営がきちっとできるように、校長ができるようにサポートする意味でも、最低2、3人は校長を支えていけるような、教員の配置をしていただきたい。一つの学校にいい教員がたくさん集まるのではなくて、2、3人いたら学校をつくれるのが校長だと思いますので、しんどい人ばかりを集める学校をつくるのではなく、少なくとも2、3人は入るような学校をつくって、校長に思う存分力を発揮してもらおうと、こういう人事配置をしてもらいたいと思っています。ぜひ、よろしくをお願いします。

安田次長： ヒアリングで丁寧に校長先生の願いをお聞きして、そこで、育っていつてくれるであろう人材の配置に努めてまいりたいと思います。

新子教育長： 他、いかがでしょうか。

田中委員： 今、山崎委員が言われたように、管理職を支えるような人材ですね、それから、市籍ということがあると思うのですが、柏原市の場合は、各学校にどれくらい入っておられるのでしょうか。

新子教育長： 人事的な入れ替えがございますので、ほぼ各学校に1名を置くと、つい先日もここで面接を行いまして、あとは、府の方へ、指導教諭も含めて。

田中委員： 各1名ずつということですね。今、言われた指導教諭は何名くらいおられるんですか。

安田次長： 全部で6名、これから増やしていく予定です。

新子教育長： できる者は、上をめざす者もおりますし、非常にバランスが難しいですね。できるだけ、学校の意見を聞きながら、校長先生にも聞きながら、教育監にも入ってもらって、人事ヒアリングをやっております。

田中委員： 今、教頭になりたがる人が少ないと聞いておりますので。

新子教育長： たしかに、少ないです。

西村委員： 支援教育の指導の方の専門性の担保はどのようにされていますか。教えていた

だけたらと思います。

安田次長： 支援教育の免許を持った者を中心に配置は考えております。また、そうでない者が担任になった場合は、府の研修を受けていただいたり、市教委の方でもリーディングスタッフがおりますので、学校に研修に行ったりとか、支援の担任で集まって研修会をしたりしております。そういったところで、育成に努めているところです。

西村委員： また、よろしく願いいたします。

新子教育長： 他は、よろしいでしょうか。それでは、議案第42号について、原案どおり承認してよろしいですか。

委員全員： 異議なし。

新子教育長： それでは、議案第42号柏原市立学校園教職員人事基本方針については、原案どおり承認することにいたします。最後に、議案第43号について、事務局、石橋こども育成課長より説明をお願いいたします。

石橋課長： 議案第43号、8ページをご覧ください。就学前施設の統合に伴う柏原市立幼稚園について、柏原市立幼稚園について、次のとおり廃園とする。1、市立柏原西幼稚園・市立玉手幼稚園、市立国分幼稚園、令和3年4月1日付けで廃園。2、市立堅下幼稚園、令和4年4月1日付けで廃園。前回の教育委員会会議で、堅下幼稚園について、令和3年度の4歳児クラスの休級を決定いただきました。このたび、令和3年度からの幼保再編に伴いまして、柏原市立幼稚園条例の改正が必要でございます。その前提といたしまして、当該園の廃園を教育委員会会議でまず、ご決定いただくものでございます。ご審議をよろしく願いいたします。

新子教育長： 今、説明がございました。柏原西幼稚園、玉手幼稚園、国分幼稚園につきましては、4月1日をもって廃園、認定こども園という形に変わります。今のところ堅下幼稚園、ここが微妙でしたけども、議案にありますように令和4年3月31日までということですが、ご質問等ございましたら、お願いします。

山崎委員： 新しく、条例規則を作るのに、令和4年3月31日、再来年の話なのだけど、ここで、廃園を議決しておくということなんですね。

石橋部長： 早めにやっておくということでも意味はあるのですが、令和3年の4月1日から同じ地区内で、新たに認定こども園が、公立のが新たにスタートしますので、一年間は、両施設が並行してということになりますので、実際に来年度は、これまでと違って、堅下幼稚園については、休級状態ではあるのですが、新たな4歳児の募集をしないということで、前回説明をしたことの今回は形で、同時に条例案をあげさせていただくということで、提案させていただきました。

山崎委員： 令和4年のことだけれどもということですね。

新子教育長： ほぼ、固まっていますので形状のところでございますが、よろしいでしょうか。

委員全員： はい。

新子教育長： それでは、議案第43号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員： 異議なし。

新子教育長： それでは、議案第43号就学前施設の統合に伴う柏原市立幼稚園については、原案どおり承認することにいたします。本日の議事案件の審査は以上です。報告等も本日はございませんので、以上で、令和2年第10回定例教育委員会会議を閉会いたします。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

柏原市教育委員